

樹木

- ・イチヨウ・アオギリと様々な樹木があることで季節の変化を感じられている。
- ・夏は木陰があると涼しいので高木は残す。または移植して欲しい。
- ・生垣ではなく高木が良いと思う。

安全

- ・トイレが薄暗く使いづらい。
- ・夜に人がいて防犯面が不安である。
- ・ゴミの放置されているのでしっかり管理をして欲しい。

遊び

- ・遊具のバランスはとても良いと思う。(ブランコ、砂場、シーソー、滑り台)
- ・築山遊具はこの規模の公園にしてはダイナミックで良い。原形は保全して欲しい。
- ・築山は子ども達がよく使っている。滑り台やクライミングの要素は残して欲しい。
- ・築山の滑り台はすべるとコンクリートでおしりがすれそうで怖い。
- ・砂場が広さの割に使いづらい。日陰が欲しい。
- ・周辺の保育施設の遊び場として不十分。

全体

- ・遊具、ベンチ、緑がバランス良く配置されていて、いろいろな年代の人に使われている公園だと思う。引き続きいろいろな世代の人に使われる公園であって欲しい。
- ・各器具が手入れされておらず、砂場やトイレをはじめとして使いづらい。
- ・老朽化していて使う気にならない。

新しい公園に対する思い

遊び

- ・すべり台とブランコが子どもに人気がある。
- ・複合遊具があったら良いと思う。
- ・ボタンを押すとミストが出る等のユニークな遊具が欲しい。
- ・周囲に砂場が少ないので動物のフンを防ぐネット設置のうえで砂場が欲しい。
- ・障がいをかかえる子どもも遊ぶことができるインクルーシブ遊具を1つでも設置できるとよい。

その他

- ・新しいトイレは周囲にとけこむ建物の色、形として欲しい。
- ・西側出入り口をより安全にして欲しい(車止めを二列にする等)。

当日の成果：今の公園に対する思い



当日の成果：新しい公園に欲しい遊具について



4. アンケートのご案内

整備内容を具体的に検討していくうえで、地域の皆様のご意見を把握するためのwebアンケートを実施します。右下の二次元コードからアクセスいただき、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

回答期間

令和7年 8月6日(水)まで



※回答に要する時間は5分程度です。
アクセスできないまたは紙での回答を希望される方は下記担当までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

目黒区役所 都市整備部 みどり土木政策課 施設整備係
電話：03-5722-9753 ファックス：03-3792-2112
メール：midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp

担当：在原、柿崎、伊藤



目黒区立宮下児童遊園 リノベーション工事 ニュースレター

1. 目黒区立宮下児童遊園リノベーション工事について

目黒区では、宮下児童遊園(大橋2-10-32)のリノベーション工事を行うこととなりました。令和8年度の工事に向けて、今年度に意見交換会を全2回にわたって開催し、地域の皆様と意見を交換しながら整備内容をまとめていく予定です。

2. 公園等整備のスケジュール



第二回あおぞら意見交換会の予定

第二回意見交換会では、今回いただいたご意見やアンケートの結果を踏まえた計画の提示と、公園に導入したい施設などについて意見交換を行います。

日時：令和7年 9月28日(日) 10:00~11:30(予定)

会場：目黒区宮下児童遊園内(大橋2-18-32)
雨天時 北部地区サービス事務所 第1・2会議室
住所 目黒区大橋一丁目5番1号クロスエアタワー9階

参加方法：お申込みは不要です。当日会場にお越しください。
※途中参加・途中退出できます。車でのご来場はご遠慮ください。

3. 第一回あおぞら意見交換会の結果

7月6日(日)に【第一回あおぞら意見交換会】を開催し、17名の方に参加いただきました。暑い中、多数の方にご参加いただきありがとうございました。



第一回あおぞら意見交換会の様子



当日の成果 計画案についてのご意見

宮下児童遊園の現況

現況の公園について整理しました。

樹木

- ・既存の高木がある。(主な高木：イチヨウ、アオギリ等)

遊び

- ・ブランコ、築山遊具(滑り台)、シーソー、砂場がある。
- ・現在の基準を満たす、安全に遊ぶための領域が確保できていない。

施設

- ・ベンチ、水飲み、トイレ等がある。
- ・老朽化やバリアフリー未対応のため、施設の役割を十分に果たせていない状態である。

その他

- ・令和6年度に、近隣に氷川台ふれあい公園が開園した。
- ・氷川台ふれあい公園は休憩、広場の機能を持っている。



方針（案）

現況や課題をふまえて整備方針を定めました。

子ども達に魅力のある遊び場の創出

安全基準を満たした遊具を整備し、安心して遊べる環境を整える。

地域と共に育まれたみどりを残し、みどりの景観を継承する

今あるみどりを未来に向けて保全していく。

誰もが安全に安心して利用できる公園

バリアフリーと子どもの飛び出しを考慮した入口やトイレを整備する。

氷川台ふれあい公園との連続性を考慮

隣接した公園からの動線や施設内容を考慮し、一体的な整備を行う。

ゾーニング案イメージ

方針に基づき、参考としてゾーニングを3案提示し、意見交換会にご参加の皆様からご意見をいただきました。

※案はあくまでイメージであり、今後の意見交換会やアンケート調査を踏まえて検討していきます。

A案 遊具を中心とした活発に遊ぶ案

- ・園内を一つの遊びゾーンとする。
- ・大きめの複合遊具や築山遊具等を設置する。
- ・南側の既存の擁壁（青点線部）を撤去した場合の計画案であり、高い擁壁は作らず、外周に飛び出し防止柵等を設置して見通しの良い遊び場を創出する。

遊具のイメージ(例)



築山遊具



複合遊具(大)

主なご意見

- ・A案が良いと思う。子どもがのびのび遊べる空間を重視して欲しい。
- ・近隣保育園には園庭が無い園もあり、子ども達の遊びを大事にして欲しい。
- ・A案は木陰が少ない。

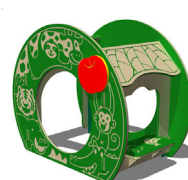
B案 多様な遊びができる案

- ・広場ゾーンを中心に南北に二つの遊びゾーンを設ける。
- ・北側の遊びゾーンには幼児が遊べる砂場やハウス遊具、南側の遊びゾーンには児童も楽しめる小さめの複合遊具を配置する。
- ・南側の既存擁壁は一部は残し（緑点線部）、園内側の既存樹木2本を保全する（🌳：既存樹木記号）。

遊具のイメージ(例)



砂場



ハウス型遊具



複合遊具(小)

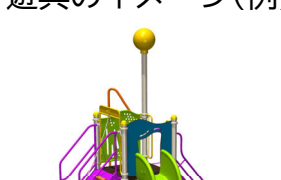
主なご意見

- ・子どもが遊べるゾーンが二つあるのは良いことだと思うのでB案が良いと思う。
- ・今のゾーニングをベースにして欲しいので、最も似ているB案が良いと思う。

C案 くつろぎゾーンと遊びゾーンをバランスよく配置する案

- ・広場ゾーンを中心に南側に遊びゾーン、北側にくつろぎゾーンを設ける。
- ・敷地の高低差を活かし1段高く設けられたくつろぎゾーンは、落ち着いた時間を過ごすことができる。
- ・南側の遊びゾーンには小さめの複合遊具を配置する。
- ・南側の既存擁壁は一部は残し（緑点線部）、園内側の既存樹木2本を保全する（🌳：既存樹木記号）。

遊具のイメージ(例)



複合遊具(小)

主なご意見

- ・C案が良い。地域の高齢者が子どもを見守りができる空間になれば良い。
- ・高低差を活かしたくつろぎゾーンがあるところが良いと思う。
- ・隣接する氷川台ふれあい公園との機能の住み分けを考えるとくつろぎゾーンは無くても良いと思う。